

単元構想 (記入例 第2学年「はこの形」)

(1) 本単元につながる既習の内容

- ・いろいろなかたち (1年生)
- ・かたちづくり (1年生)
- ・三角形と四角形 (2年生)

他の単元との系統性を見る
領域とのつながりを見る

(2) 指導計画 全5時間

1時間ごとの学習内容

①課題設定	②はこの形	③はこづくり〈本時〉	④はこづくり	⑤習熟
<p><input type="checkbox"/>めあて はこの形をしらべよう。(関)</p> <p><input type="checkbox"/>問題 はこのめんは、どんな形がいくつあるか調べよう。</p> <p><input type="checkbox"/>振り返り はこの面はぜんぶで6つあることが分かった。めんは、長方形や正方形の形をしていることが分かった。</p>	<p><input type="checkbox"/>めあて はこの形の辺やちょう点についてしらべよう。(知)</p> <p><input type="checkbox"/>問題 辺やちょう点は、いくつずつありますか。</p> <p><input type="checkbox"/>振り返り はこの形には、辺が12、ちょう点が8つあることが分かった。 <u>はこには、同じ形のめんがあることが分かった。はこを調べるとき、同じ形のめんを見つけようと思う。</u></p>	<p><input type="checkbox"/>めあて めんの形をえらんで、はこの形を作ろう。(考)</p> <p><input type="checkbox"/>問題 めんの形をえらんで、はこの形を作りましょう。</p> <p><input type="checkbox"/>振り返り むかい合っためんとめんは同じ形であることが分かった。 <u>はこの形を作るとき、同じ形の面を2つずつ3しゅるい集めるとできる。</u></p>	<p><input type="checkbox"/>めあて ひごとねんど玉をつかって、はこの形を作ろう。(技)</p> <p><input type="checkbox"/>問題 どんな長さのひごが何本ずついりますか。ねん土玉は、何こいりますか。</p> <p><input type="checkbox"/>振り返り ひごとねんど玉をつかって箱をつくることができた。ねんど玉は8こでちょう点と同じ数ということが分かった。ひごの数は、はこの形によってちがうことが分かった。</p>	<p><input type="checkbox"/>めあて れんしゅうもんだいをとこう。(考)</p> <p><input type="checkbox"/>問題 P.97 「たしかめましょう」</p> <p><input type="checkbox"/>振り返り はこには、めんや辺やちょう点があり、それらの数をたしかめることができた。 はこの形がつかれないわけをせつめいすることができた。</p>

※評価の観点 (関) 算数への関心・意欲・態度 (考) 数学的な考え方
(技) 数量や図形についての技能 (知) 数量や図形についての知識・理解

_____ メタ認知につながる記述

(3) 本単元で身に付けたことを確かめる問題

(課題)
はこの形をつくらうとして、右の6つの面を
使いましたが、うまくできませんでした。
そのわけをせつめいしましょう。

あ

い

う

え

お

か

(評価)
はこの形の構成要素(面、辺、頂点)を確認した上で、説明することができる。

単元を通して解けるようにしなければならない問題
主に、単元の最後の問題が多い
(パフォーマンス評価の手法)